

2020年8月度 競技・ハンディキャップ委員会 議事録

参加委員 赤岡委員長・増田委員・伊東委員・井出委員・小林委員・丸山委員
事務局 樋口 越賀 山王

1 赤岡委員長ご挨拶

2 クラブ選手権について

今年から7月開催に変更。最終日に開場記念杯を合わせることで表彰式を大いに盛り上げることに成功。

今年は例年になく天候不順ではあったが、初日、2日目は奇跡的に天候がよく、決勝は厳しい天候ではあったが何とか実施できた。

恐らく、60名以上のギャラリーの前でクラブ競技会の表彰式ができること自体がかなり稀有。来年以降も同時期で継続ということで決定した。

3 シニア選手権・グランドシニア選手権ルール及び条件確認

シニア選手権

参加資格 正会員かつ60歳以上※その年の12月31日までに当該年齢を迎える方を含む。

過去1年間で倶楽部公式競技に3回以上参加

参加費 3000円(税別)※参加費には昼食代を含みません。

予選 11月8日(日)

使用ティ 青

競技方法 18Hストロークプレイ スクラッチ競技

同スコアの順位決定方法 マッチング

上位16位タイまでが決勝進出(スコアは持ち越します)

決勝 11月15日(日)

使用ティ 青

競技方法 18Hストロークプレイ スクラッチ競技(予選のスコアを含めた36Hのスコアにて順位決定します。)

同スコアの順位決定方法 マッチング

グランドシニア選手権 11月15日(日)

参加資格 正会員かつ70歳以上※その年の12月31日までに当該年齢を迎える方を含む。

参加費 2000円(税別)※参加費には昼食代を含みません。

使用ティ 白

競技方法 18Hストロークプレイ スクラッチ競技

同スコアの順位決定方法 マッチング

4 シャトレーゼグループ選手権について

齊藤会長より、全国各地より選手を一堂に会すること自体が現時点でかなり厳しいとの見解をいただき、今回は中止とした。

会長自身も一番楽しみにしているイベントなので本当に残念とのこと。

来年はシニア選手権明けの10月実施予定です。

5 来年度関東倶楽部対抗競技会の件

KGAより、来年のクラブ対抗の会場に関して「1大会120名までの参加に制限する」との通達があった。伴い、各コースの男子代表選手を各クラス3名計6名にするか?27ホールのコースへ変更することで会場の使用範囲を拡大するか?という2択を迫られました。

来年度開催コースとして、是が非でも自コース開催を望みたい気持ちは山々でしたが、代表選手を減らすということは選手ファーストの視点からよろしくないと判断いたしました。そこで、27ホールを有するグループコース昇仙峡カントリークラブへ開催コースをゆだねる形で8月7日に議決を取る予定です。

6 前回指摘事項

※○は委員意見・●は事務局見解

○ショートのティイングエリアの状態が全体的に悪い。エアレーション等必要では?

●No8はエアレーション実施。他は目土をかなり重点的に行った。今年は長雨の影響で芝の生育もよくないが、継続して対策を講じます。

○No2のカート路。コンクリートむき出しなのでプレーに影響がでる。

●現在検討中

○カート内の喫煙をやめてもらいたい。

●競技規則第5条にも「カート内の禁煙」は謳われております。掲示済み。

○月例の組み合わせは基本的に希望を取らず、HD順に変えたらどうか?

●結果高評価が多かった。今後も継続することとする。

○トイレのコップ入れ変えた方がいい。

●変更済み。

7 立ち合い日程

9月6日月例 伊東委員

10月4日月例 増田委員

11月1日月例 小林委員

11月8日シニア予選 丸山委員

11月15日シニア決勝 丸山委員

12月6日月例 丸山委員

6 その他

※○は委員意見・●は事務局見解

○No16のバックティの位置が悪いとグリーンやカップがティから見えない。

●意見収集後改善済み（担当山王プロ）

○No5人工芝ティ。砂が少なくなっているため滑りが悪く手首を痛める

●即目砂を実施します。（担当萩原）

○No7バックティ。今後の使用予定は？

●現状メインのクラブ競技以外では使用しないが、継続して手入れを行うよう指導します。

○ショートHのティに簡易目砂箱を置いてはどうか

●他社参考に早急に手配します。（担当樋口）

○No2のコース内のマンホール。修理地扱いだったが大丈夫と思い乗ったところ陥没した。危ないのでもっと嚴重に入れないようにすることと、他もチェックすべき。

●添付写真のように囲い安全確保しました。他も随時確認します。（担当萩原）



○競技会の前日に競技委員がホールロケーションをチェックすべきでは？

●現状山王プロに委任している。所属プロの意見を尊重したい。

○競技委員の追加をお願いできないか？

●現委員のご意見を反映するのも追いついていない状態。これ以上委員が増えれば「船頭多く
船山を登る」状態になりかねない。もう少し落ち着くまで保留とさせていただきたい。